



早大ラグビー「直伝」市

小中高生対象 監督、部員が教室 関

今年創部100周年を迎える早稲田大学ラグビー蹴球部による県内の小中高生らを対象としたラグビークリニックが30日、関市塔ノ洞のグリーンフィールド中池で開かれた。バローホールディングス主催。関市共催、岐阜新聞・ぎふチャンなど後援、県ラグビーフットボール協会など

早稲田大の素早いパス回しのデモンストレーションに見入る県内の高校生ら。関市塔ノ洞、グリーンフィールド中池

主管。同部の相良南海さんは「アドバイスなど、習につなげたい」と笑。夫監督やコーチ、選手10人らが講師を務めた。午前は県内のラグビースクールに通う子どもたち約250人が基礎練習を行い、午後からは高校生約200人が指導を受けた。高校生はポジションごとに分かれ、キックやパスなどの練習を同部と同じ方法で体験したり、実戦形式で練習の成果を確認したりした。選手から「声を出すことを意識して」などアドバイスを受けながら、生徒たちは真剣に練習に取り組んでいた。

関商工高ラグビー部主将の3年山田楓真さ